

「経口セマグリチドの有用性（効果と副作用）」に関する研究

1. 研究対象

2022年1月以降に、経口セマグリチド（リベルサス®）の服用を開始した糖尿病の方。

2. 研究目的・方法

糖尿病の治療薬の進歩は目覚ましく、約10年前に新しく上市されたGLP-1受容体作動薬は、血糖値のコントロールのみならず、体重減少効果、糖尿病や肥満による脂肪肝、脂質異常改善作用も示されています。ただし、吐気、便秘などの副作用もあります。従来このGLP-1受容体は注射薬でしたが、2021年に経口セマグリチド（リベルサス®）が発売され、笠岡第一病院でもこの薬剤を処方する患者さんが増えてきました。

笠岡第一病院で本剤を処方された方（2022年1月から2023年3月までに処方された約70名）を対象に、実臨床でのこの薬剤の有用性（効果と副作用）を検討することにしました。

3. 研究にもちいる情報の種類

情報：年齢、性別、体重、合併症（高血圧、脂質異常症、肝機能障害）、治療内容（本剤の投与量、投与期間、併用薬）、検査結果（血糖、HbA1c、肝機能）、副作用

4. お問い合わせ

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や関連資料を閲覧することができますので御申しつけください。

また情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお問い合わせください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：

笠岡第一病院 内科 原田和博

笠岡市横島 1945

0865-67-0211 内線 6205

kazuhiro-harada@kasaoka-d-hp.or.jp

5. 利益相反

本研究において結果に影響を及ぼしかねない資金の受け入れや使用はありません。